



丹後地域 リハビリ通信

第9号

～うさぎのブランコ～

編集／発行

丹後地域リハビリテーション支援センター
(公益財団法人 丹後中央病院リハビリテーション科内)

〒627-8555 京丹後市峰山町杉谷158-1

TEL 0772-62-8301 FAX 0772-62-8302

e-mail tango-rehabili-shien@tangohp.com

http://www.tangohp.com/tangoshien.html

2011

事業報告

訪問相談事業

相談件数 47件

- 介護支援専門員 26件
- 看護師 11件
- その他 10件

地域包括支援センター等 に対する助言・相談

助言・相談件数 40件

情報提供

- 広報誌 うさぎのブランコ 7号(8月)、8号(1月)
- ホームページの開設・更新

研修会

平成23年11月4日(金) 67名参加

「流す排泄・流されない排泄ケアを考える
～排泄から生活を見つめて～」

事例検討会

第1回 平成23年10月21日(金) 44名参加

「脳出血後遺症患者に対する社会復帰支援について
～30代男性退院から就労支援まで～」

第2回 平成23年12月12日(月) 42名参加

「脊髄小脳変性症患者さんの在宅支援～入退院を繰り返し、
進行が著しい患者をチームで支えるために～」

第3回 平成24年2月23日(木) 44名参加

「高齢者のうつとリハビリ」

第4回 平成24年2月28日(火) 49名参加

「ポジショニングについて」 ※伊根町のリハビリを考える会

実践交流会

平成24年 3月7日(水) 109名参加

お気軽サミットin丹後
トークセッション

実践報告(3施設)、展示、相談

センター長からのあいさつ



この度、地域リハビリテーション支援センター長に就任致しました。
丹後地域のリハビリテーションが必要なすべての方々にとって、効率的に
そして最大限の利用が可能になるよう支援させていただきます。
まだ、いろいろ勉強中の身ではありますが、よろしくお願いします。

センター長 西川玲子(公益財団法人 丹後中央病院 整形外科医)

平成23年 第3回事例検討会開催の報告

医療職、介護職、行政職など44名
の方に参加いただきました

大切なことは「できない事」の評価だけでなく、
「できること」「興味関心があること」「本人の強み」を
しっかり評価していくことです

日 時：平成24年2月23日(木曜日)

講演：「高齢者のうつとリハビリ」

講 師：京都府丹後保健所 精神保健福祉相談員

西邑 章 氏

報告者：居宅介護支援事業所青嵐荘 介護支援専門員

細見 英子 氏

グループワークにて事例の強みを生かした支援を考えました
作戦名は…

明るいお母さん、復活大作戦

本人の思い
料理がしたい。ヘルパー
家事援助 + 身体
実体が買物に
動けるようになる。訪問リハ

また料理を作ろう。
支援
役割
人だてで考える
どんなことをおこなうか、
順番を考える。
（やり）動作は練習。
手買、てる物を求める
（山川さとしに）
自分から体を使う
「ここへ来てほしい」
ADLトレーニング
本人用具を使って、自分
トイまで行く。
思いつく。
主治医の連絡、内服薬

本人の思い

1st ステップ
・ きれいになりたい
日サお風呂に入りたい

↓

2nd ステップ
・ 前のようた歌を下のけたい
歌をいいたい ✓

↓

3rd ステップ
・ 息子のお弁当をツクリたい
(そう簡単さぞか！)

支援

ヘルパーによる訪問
・入浴介助
・整容介助

インホーム(親戚・近所)の
訪問 (介護サービス利用)
(お礼・報告)

ヘルパーによる買物支援
(食料購入)

役割

本人 自分で出来ること
ヘルパー 出来ないこと
家族 出来ること

お母さん
への思い(役割)

```
graph TD
    subgraph Support [支援]
        H1[ヘルパーによる訪問]
        H1 --> H1_1[入浴介助]
        H1 --> H1_2[整容介助]
        I[インホーム]
        I --> I_1["(親戚・近所)の訪問"]
        I --> I_2["(介護サービス利用)"]
        I --> I_3["(お礼・報告)"]
        H2[ヘルパーによる買物支援]
        H2 --> H2_1["(食料購入)"]
    end

    subgraph Role [役割]
        B[本人]
        B --> B_1["自分で出来ること"]
        H[ヘルパー]
        H --> H_1["出来ないこと"]
        F[家族]
        F --> F_1["出来ること"]
    end

    O["お母さんへの思い(役割)"]
```

参加者の感想より

- 強みに視点を持っていくと楽しいプランができることがわかった。
- グループワークでの楽しいプランづくりを勉強し、ケアマネのプラン作成においても発想、視点の転換をしていきたいと思います。
- できないかもじゃなく「できる」「夢は持っている」。聞き出さなくてはという思いです。



平成23年 第4回事例検討会開催の報告

今回は、リハビリ資源のすくない伊根町で知識・技術の底上げを目指し、事例検討を含めた研修会をおこないました。

伊根町で働く、行政、介護、福祉職中心に

49名の方に参加いただきました。



褥瘡のケアは栄養管理、圧迫・ズレの排除、スキンケアが大切です。

日時：平成24年2月28日(火曜日)

講義：「褥創について」

講師：公益財団法人丹後中央病院 看護師

NST専門療法士 川戸 みゆき 氏

事例検討会/グループワーク：

「ポジショニングについて」

助言者：公益財団法人丹後中央病院 理学療法士

松田 佳憲 氏

佐藤 一喜 氏

山崎 朋也 氏

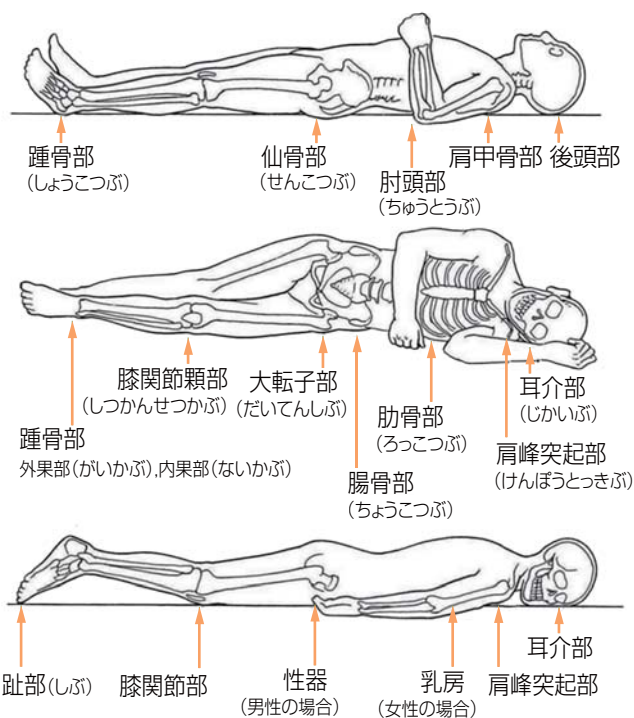


一部分だけでなく、全体をみて行うようにしてください。

クッションなどを入れた後も、入れたことによりほかの部分で姿勢がくずれていないか、圧が逃がせたかなどをひとつずつ確認しながら行うことが大切です。



体位による褥瘡発生部位



骨突出部に発生しやすいので予防の
為には圧を分散させることが重要です



3グループに分かれ、それぞれ助言者の指導のもと、提示した事例にあったポジショニングについて検討しました。

報告

知る!聞く!見る!体感リハビリ 地域リハビリテーション実践交流会 お気軽サミットin丹後2012

開催日:平成24年3月7日(水)
場所:野田川わーくばる
参加者:109名

丹後のあちこちで実践されているリハビリを「知ろう」「知りたい」「知ってほしい」。
今年で実践交流会「お気軽サミットin丹後」も5回目を迎えました。
今回は対象者を一般にも広げ開催しました。

トークセッション

「ご長寿に学ぶ元気な暮らしへのヒント」



京丹後市の100歳以上の方の暮らしの実態について調査にあたってきました。
京丹後市は長寿者が多く、百寿率は全国平均の2.6倍です。幸せな長寿を過ごすには、
うれしい事がたくさんある、認知力が低下しない、人との関係がよいことが関係してい
ました。
100歳まで元気にいるための健康長寿のキーワードは
動く、食べる、話す、笑う、ふれあう、役割(仕事)があるです。

京丹後市健康推進課 百歳健康長寿推進チーム
保健師

松本 裕子 氏



超高齢期のポジティブな生活を維持している背景に、地域の風土や伝統的特性、超高
齢者への支援環境があることです。京丹後市は同居率が高く、超高齢期を安心して
ゆだねる存在があるのだと思います。
周囲との絆や一体感、信頼関係があれば、超高齢者の喪失感を超える幸福感を形
成することができ、
超高齢期の幸福な老い(サクセスフル・エイジング)と長寿を実現できるでしょう。



立命館大学 産業社会学部
非常勤講師

富澤 公子 氏



プロフェッショナル かいごびとの流儀

寝たきりにしない、させない… 座る為の環境設定を 足に体重をかけて生活する事が
大切です。座った後は… 居場所と役割づくり居場所と役割づくりのための3条件

- かつてやっていたことかそれに近いこと
- 今でもできること
- 周りの人に認められること

居場所と役割を大切に地域づくりをしていきましょう。



NPO丹後福祉応援団
理学療法士

松本 健史 氏



実践報告

「丹後で実践されている地域リハビリ」



「フロアにリハビリを浸透させよう」【特別養護老人ホーム岩滝あじさい苑】

府リハセンの巡回事業に参加しリハビリ方法などの指導を受けながら、実際に利用者さんへのリハビリに取り組んだ様子を発表していただきました。



「地域に必要とされる診療所を目指して」【(医)愛心会 宇川診療所】

胃ろうから経口摂取になった利用者さんの例などをあげながら、チームでリハビリに取り組んでおられる様子を発表していただきました。

「家が待っとるで帰らんなん」【グループデイひだまりの家】

地域密着型サービスのひとつである、認知症デイサービスについて、利用者さんや家族さんとの日々の様子などをまじえ発表していただきました。

展示＆相談コーナー

デイサービス住の江ミニむつき庵のオムツ展示。様々な種類のオムツを展示していただきました。



大和ハウス工業(株)のロボットスーツHALの装着体験



丹後保健所の歯科衛生士さんによる口腔ケア相談



丹後地域のPT・OT・STが福祉用具の展示・使用方法などの相談をおこないました。



新聞に掲載されました



3月20日(火)の
聖教新聞の
【生活ワイド】に
掲載されました。



平成24年度

平成24年4月から介護報酬と診療報酬改定されますので、その中からリハビリテーションに関する主な改定のポイントを説明します。



介護報酬

診療報酬改定



介護報酬

訪問リハビリ

■訪問リハビリテーション費

(1回につき)305単位

■訪問介護事業所との連携に対する評価が新設されます。

訪問介護事業所のサービス提供責任者と連携した場合の加算

300単位/回(3ヶ月に1回を限度)

通所介護

■個別機能訓練加算

(I)27単位→42単位

(II)42単位→50単位

通所リハビリ

■基本サービス費の見直し

所要時間が長時間である通所リハビリの基本報酬が一部ひきさがられます。

■リハビリテーションマネジメント加算

230単位/月

1か月につき、4回以上通所に算定要件が緩和されます。

■個別リハビリテーション実施加算

80単位/回

算定要件が見直されました。

■短期集中リハビリテーション実施加算

退院・退所後又は認定日から起算して

1月以内 280単位/日→120単位/日

1月超3月以内 140単位/日→60単位/日

■選択的サービス複数実施加算(介護予防)

(I)480単位/月(新設)

(II)700単位/月(新設)

※選択サービスの加算は介護予防所リハビリにもあります。

訪問看護

■理学療法士等の訪問看護報酬の見直しがされました。

1回あたり316単位/回(1回あたり20分)

1日に2回を超えて訪問看護を行う場合、1回につき所定単位数に90/100を乗じた単位数で算定する。

1週間に6回を限度に算定する。

介護老人保健施設

■介護保健施設サービス費の見直し

診療報酬

■早期リハビリテーションの評価

14日以内の期間

①リハビリテーション科の常勤医師が勤務している場合 75点(新設)

②その他の場合 30点

15日以上30日以内の期間 30点

■維持期リハビリテーションの評価

要介護被保険者等に対する維持期のリハビリテーション(標準的算定日数を超えた患者について、治療を継続することにより状態の改善が期待できると医学的に判断されないが、状態の維持等を目的として行われるリハビリテーション)の見直しがされます

脳血管疾患リハ料

(I) 245点→221点

(I 廃用) 235点→212点

(II) 200点→180点

(II 廃用) 190点→171点

(III) 100点→90点

(III 廃用) 100点→90点

運動器リハ料

(I) 175点→158点

(II) 165点→149点

(III) 80点→80点

■医療保険と介護保険の併用期間の見直し

1.介護保険のリハビリテーションに以降後に医療保険の疾患別リハビリテーションを算定できる期間を2ヶ月に延長する

2.また、当該移行期間の2月目については疾患別リハビリテーションを算定できる単位数を7単位までとする

■外来リハビリテーションにおける医師の診察頻度の見直し

外来リハビリテーション診察料

(I)69点(7日につき)

(II)104点(14日につき)

■回復期リハビリテーション病棟入院料の見直し

入院料1 1900点(新設)

入院料2 1750点(旧1)

入院料3 1600点(旧2)

※詳細は、厚生労働省ホームページをご確認ください。【URL:<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000021ei1.html>】